

作成 平成 10 年 7 月

改定 平成 17 年 4 月 1 日

- (1) 投稿は、ワープロ等による横書きとする。
- (2) 投稿原稿は、400 字詰め原稿用紙に換算して 50 枚（図表等を含む）以内とし、これとは別に、英文抄録 200 語（words）以内を添付する。
- (3) 脚注（補注）は、通し番号をつけ、本文中にそれに対応する番号を該当個所の右肩に 1) 2) 3) のように表す。
- (4) 引用文献注は、本文の該当個所に（執筆者名（姓のみ）西暦発行年：引用頁）で示し、表題等は、後の引用文献のところで一括して表示する。  
例 （森岡 1973：291－320）  
（ブラウ 【間場他訳】 1974：125－154）  
（Golant 1992:27）
- (5) 引用文献は、投稿原稿の末尾に、著者名のアルファベット順に、一括してあげる。  
各文献は、著者名、刊行年次、表題の順とする。単行本の場合には表題の後に出版社名を記す。雑誌論文の場合には、表題の後に雑誌名、巻数、号数、掲載の全頁を記す。編著論文の場合には、表題の後に編著者名、掲載書名、出版社名、掲載の全頁を記す。  
例 森岡清美 1973 『家族周期論』培風館  
Blau,Peter M. 1964, Exchange and Power in Social Life, John Wiley & Sons.=1974、  
間場寿一・居安正・塩原勉訳『交換と権力—社会過程の弁証法社会学—』 新曜社  
Golant,Stephen M.1992, Housing American Elderly, Sage  
佐藤 勉 1995 「個体的な物と社会的なものの連続と非連続」『社会学年報』24：43－63  
野々山久也 1987 「日本における家族の動向」本村汎・高橋重宏編 『家族の福祉と未来』  
全国社会福祉協議会 14－31  
Hill,R. 1970, “ The Three Generation Research Design:Methods for Studying Family and  
Social Change,” in Hill,Rand Konig,R (eds.) Families in East and West, Mouton  
536-551  
経済企画庁編 1990『国民生活白書（平成2年版）』大蔵省印刷局
- (6) 図・表、等は別紙として次のように作成する。
  - ① 本文の該当する個所の欄外に挿入個所を朱書きして指定する。
  - ② 図・表の番号は、図 1、表 1 のように示し、図と表のそれぞれに通し番号をつけ、表にはタイトルを上、図にはタイトルを下につける。
  - ③ 図・表を他の著作物から引用する場合には、出典を必ず明記し、必要に応じて、原著者または著作権保持者から使用許可を得ること。
- (7) 図・表等は本文に比べて大きな紙面を要する。その点を考慮し、指定の枚数を超えないように注意すること。
- (8) なお、心理学分野で執筆する際には、原稿記述の詳細について、日本心理学会編「心理学研究 執筆・投稿の手引き」も参照のこと。

以上